## 東京カンテイ、2020年新築マンション価格の「年収倍率」を算出

## 新築マンション年収倍率は全国平均で 8.41 倍 首都圏や近畿圏は価格上昇で再び拡大へ

最も年収倍率が高かったのは東京都の 13.40 倍 長野県は軽井沢の高額物件によって 10 倍超え

年収倍率が拡大した地域は 24→ 25 に微増、地方圏では 9 倍台や 10 倍台のエリアが 7→9 に増加 全国平均は 4 年連続で拡大

2020 年の新築マンション年収倍率は、全国平均で8.41 倍と前年から0.22 拡大した。地方圏で年収倍率が大幅拡大した栃木県・群馬県・新潟県・富山県・熊本県ではタワー物件が、10 倍超えとなった長野県では軽井沢エリアで高額物件の供給がそれぞれ確認されている。全国で最も年収倍率が高かったのは東京都の13.40 倍で、地方圏でも宮城県・長野県・沖縄県において年収倍率が10 倍を超えている。

首都圏では新築価格の上昇率が 平均年収の増加率を上回ったこと で、年収倍率は 0.20 拡大して 10.79 倍となった。2 年ぶりに拡大した東 京都では過去 15 年間での最高値 を記録、埼玉県でも 3 年ぶりに 10 倍台に達した。

近畿圏でも首都圏と同じ要因から、 年収倍率は 0.29 拡大して 9.14 倍と なった。大阪府と和歌山県を除く 4 府県で年収倍率が拡大しており、 中でも滋賀県と奈良県においては 過去 15 年間での最高値を更新した。 また、新築マンション価格は和歌山 県を除いて軒並み上昇した。

中部圏では平均年収の増加率が 新築価格の上昇率を上回ったこと で、年収倍率は0.08縮小の8.35倍 となった。愛知県のみ年収倍率が 拡大し、10倍台に近づきつつある。

		2020年							2019年			
	都道府県	年収倍率		平均年収 (万円)			70㎡価格 (万円)		年収倍率	順位	平均年収 (万円)	70㎡価格 (万円)
	<b>上海道</b>	7.05	<b>Y</b>	11	545	人	3,843	Image: section of the content of the	7.39	19	519	3,834
1	青森県	_	_	<b>—</b>	396	Ä	_	_	7.63	22	395	3,013
\ \	当手県	8.45	<b>⊼</b>	26	424	Y	3,582	<u>\</u>	8.18	28	440	3,601
7	宮城県	10.63	$\overline{\lambda}$	42	465	$\overline{A}$	4,942	$\overline{}$	9.81	39	452	4,433
Ŧ	火田県	9.03	Ŷ	32	413	Y	3,731	Y	10.06	41	425	4,276
L	山形県	8.21	$\mathbf{\dot{M}}$	24	439	$\overline{A}$	3,603	$\overline{\lambda}$	8.32	30	433	3,601
7	富島県	8.70	<u>\</u>	30	410	$\mathbf{\dot{\Sigma}}$	3,566	<b>1</b>	10.66	44	411	4,383
7	<b>茨城県</b>	7.65	<b>1</b>	17	480	<b>₹</b>	3,671	<b>Y</b>	8.66	34	468	4,055
ħ	厉木県	7.92	$\overline{A}$	19	471	$\triangle$	3,730	<b>—</b>	6.71	8	502	3,368
君	洋馬県	9.28	$\overline{A}$	35	488	<b>—</b>	4,530	$\overline{}$	7.83	24	459	3,593
	埼玉県	10.21	<b>₹</b>	39	499	<b>—</b>	5,093	$\overline{\lambda}$	9.41	37	484	4,555
	千葉県	8.45	$\mathbf{\dot{M}}$	27	521	$\overline{}$	4,403	<b>₹</b>	8.48	32	516	4,376
	東京都	13.40	$\overline{\lambda}$	46	596	<b>X</b>	7,989	$\overline{\lambda}$	13.26	47	588	7,795
	神奈川県	10.72	Y	43	551	<b>₹</b>	5,905	<b>₹</b>	10.78	45	512	5,517
	首都圏	10.79	ス	_	542	一	5,848	入	10.59	_	525	5,561
*	所潟県	9.11	$\overline{\lambda}$	33	442	$\overline{\lambda}$	4,028	$\overline{\lambda}$	7.30	16	435	3,175
7	富山県	8.49	$\overline{}$	28	458	$\mathbf{\dot{\Sigma}}$	3,889	$\overline{}$	7.30	17	464	3,387
7	5川県	9.50	<u>\</u>	36	480	<del></del>	4,559	<b>1</b>	9.81	40	471	4,622
7	<b>畐井県</b>	6.41	Y	5	527	<b>\</b>	3,380	$\mathbf{\dot{Y}}$	7.00	13	492	3,446
L	山梨県	7.26	人	14	500	$\overline{\lambda}$	3,628	$\overline{\lambda}$	6.66	7	457	3,043
1	長野県	10.24	人	40	490		5,016	<b>A</b>	9.57	38	479	4,585
	岐阜県	8.24	Y	25	444	Ä	3,657	<del>人</del>	8.32	31	439	3,651
	静岡県	7.61	<u>\</u>	16	495	Ä	3,768	<b>\</b>	8.00	26	461	3,689
	愛知県	9.55	人	37	509		4,863		9.21	36	490	4,513
	三重県	7.92	Y	20	477	<b>X</b>	3,779	入	8.16	27	457	3,730
	中部圏	8.35	<u>\</u>	_	481	<b>₹</b>	4,017	入	8.43	_	462	3,896
	滋賀県	7.94	<b>₹</b>	21	480	<b>▼</b>	3,812	<b>₹</b>	7.91	25	472	3,733
	京都府	11.34	$\overline{\lambda}$	45	438	$\overline{A}$	4,969	<b>₹</b>	10.82	46	437	4,728
	大阪府	10.37		41	502	$\overline{A}$	5,208	<b>₹</b>	10.37	42	487	5,052
	兵庫県	8.79	$\overline{\lambda}$	31	534	$\overline{A}$	4,695	$\overline{\lambda}$	8.56	33	527	4,513
	奈良県	8.64	<b>人</b>	29	460	<u> </u>	3,974	<b>₹</b>	7.26	15	466	3,384
	和歌山県	7.84	<u>\</u>	18	441	人	3,458	<b>1</b>	8.22	29	436	3,585
	近畿圏	9.14	人		476	$\overline{}$	4,353	人	8.85		471	4,166
Į.	导取県	6.95	<b>₹</b>	8	390	<u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u>	2,712	<b>—</b>	6.22	2	409	2,545
.5	島根県	5.97	<u>\</u>	3	415	<u>\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ </u>	2,478	<u>\</u>	6.47	5	418	2,704
[	岡山県	6.93	<b>₹</b>	7	455	<u>\</u>	3,151	<u>\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ </u>	6.84	12	487	3,333
	<b>広島県</b>	6.99	<b>₹</b>	9	528	<u></u>	3,692	<u>~</u>	6.57	6	504	3,313
L	山口県	5.79	<u>\</u>	2	467	<u></u> The second of the second	2,706	<b>₹</b>	5.84	1	463	2,705
î	徳島県	7.20	<b>₹</b>	13	450	<u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u>	3,240	Ţ	6.81	9	464	3,160
*******	<b>小県</b>	5.33	M	1	477	<b>₹</b>	2,543	Y	6.38	4	465	2,965
Ž	愛媛県	6.17	<u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u>	4	421	<u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u>	2,598	$\stackrel{\searrow}{\searrow}$	6.28	3	449	2,819
-	<b>高知県</b>	6.63	7	6	415	Ż	2,751	<u>\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ </u>	7.18	14	424	3,044
0000000	<b>副岡県</b>	7.95	<b>₹</b>	22	481	<u>\( \frac{1}{2} \)</u>	3,824	Į.	7.79	23	484	3,768
	生賀県	7.02	<u>\</u>	10	398	<u>~</u>	2,792	<u>\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ </u>	7.43	20	381	2,830
	長崎県	8.16	<u>~</u>	23	461	Ž	3,761	<u>₹</u>	7.46	21	456	3,401
	[本県	9.92	<u>~</u>	38	386	<u> </u>	3,830	<u>~</u>	6.83	11	441	3,010
7	大分県	7.15	$\overline{\lambda}$	12	437	<b>A</b>	3,123	<u></u>	6.81	10	429	2,923
7	宮崎県	7.59	<del>ڳ</del>	15	396	<u>\</u>	3,007	<u></u>	7.30	18	403	2,941
B	电児島県	9.18	$\Rightarrow$	34	374	<b>▼</b>	3,434	<b>X</b>	9.18	35	372	3,416
1	中縄県	10.84	<b>₹</b>	44	387	<u>\</u>	4,195	<u>\</u>	10.63	43	396	4,208
	全 国	8.41		-	463		3,894		8.19	_	458	3,752

※各都道府県で分譲された新築マンション価格(70m² 換算)を平均年収で除し、新築価格が年収の何倍に相当するかを算出。年収は内閣府発表の「県民経済計算」を基にした予測値を使用。全国の平均年収は、新築分譲実績が確認されていない都道府県の年収を除外して算出している。

発 リリース日 株式会社 東京カンテイ 2021年10月28日(木)